

応募シート

応募者名(代表者名)			年齢	歳
住所	〒	電話		
		メール		
所属(学校名)			学年	年
グループ名 (※個人応募の場合は不要)				
保護者名				印
タイトル				
自分がめざす夢の概要				
動機または背景 (なぜこの夢を実現したいか)				
具体的な取組活動 (夢に近づくため今年度に取り組む具体的な活動を記載してください)				
将来の展望 (次年度以降どのように取り組むのか)				

*枠が足りない場合は、A4用紙4ページ以内にまとめて提出いただいても結構です。

応募シートは、下記アドレスからダウンロードできます。
<http://www.pref.mie.lg.jp/SHOSHIKA/HP/m0329700058.htm>

詳しくはHPをご覧ください。

みえの子ども夢実現応援プロジェクト



▲申請書QRコード (スマホ用)

お問合せ 〒514-8570 津市広明町13番地 三重県子ども・福祉部少子化対策課 太田・井戸
TEL. 059-224-2269 FAX. 059-224-2270
E-mail shoshika@pref.mie.lg.jp

第2回 みえの子ども **夢★実★現**

応援プロジェクト

PROJECT

夢かなえたい人! 集まれー!!

小学生・中学生・高校生の夢実現へ、
最大10万円を支援します!

応募締切
 2019年
7/5
 (金)

夢実現へ!
 東大等の学生
 グループがメンターとして
 サポートします!



主催:三重県、みえ次世代育成応援ネットワーク 後援:三重県教育委員会

みえの子ども夢実現応援プロジェクトとは・・・

「将来進みたい分野を極めたい」、「地域を盛り上げるイベントを起こしたい」など子どもたちが創意あふれる熱い思いをもとに、子どもたち自身が考え、工夫し、自分たちの夢を具体的に実現する取組を学生有志グループ等のメンターチームが各種支援します。



応募資格 県内の学校に通学、又は県内に居住する小学校高学年から高校生までの児童生徒等を対象とします。

応募単位 1人または1グループで複数件応募することも可能です。

応募締切 2019年7月5日(金)

応募内容 「将来進みたい分野(料理、芸術等)を極めたい」、「地域を盛り上げるイベントを仲間とともに起こしたい」など創意あふれる熱い思いをもとに、子どもたち自身が考え、夢に向かって具体的に実現する取組を募集します。

応募方法 裏面の応募シートに必要事項を記入の上、三重県子ども・福祉部少子化対策課まで郵送又はFAXなどで送付してください。応募シート下にあるQRコード(スマホ用)もご利用いただけます。

採択方法 ①書類審査
県庁内等で応募者の中から書類選考を行い、15件程度を選定します。
②最終審査(8月3日(土))
最終審査会で応募者と直接面談し、採択者5件程度を決定します。

審査基準 独創性、将来性、発想力、熱意、実現可能性などを総合的に審査します。

夢実現へ 採択された方は、学生有志グループやみえ次世代育成応援ネットワーク企業などがメンターとして、人的支援を行います。なお、必要に応じて、採択者には、**最大10万円まで資金的支援を行います。**

【注意:直接、採択者にお金を渡すことはしません】

その支援を得て、翌年2月末までに取組んでいただきます。年度末には、夢を実現した子どもたちによる実践報告会を開催します。また、みえの子どもたちのロールモデルとなるように各種情報発信を行います。

*みえ次世代育成応援ネットワークとは、子どもや子育て家庭を応援する企業・団体などの集まりで、約1570会員(H31.3現在)います。



スケジュール



注意事項 応募シートの返却はいたしません。また、**審査全般**についての個別の問い合わせには応じかねます。ご提出いただいた個人情報については、個人情報保護の重要性を認識し、適切に取扱います。

以下のメンターたちがきみたちを全力でサポートします!

学生メンターたちによる講演やワークショップなども行いますので参加してください!



東京大学工学部機械工学科3年
矢口 太一 Yaguchi Taichi

-MESSAGE-

孫正義育英財団 正財団生。小学校5年生からセミの研究に取り組む。Intel ISEF2016(国際学生科学技術フェア)日本代表。第59回日本学生科学賞、内閣総理大臣賞、三重県知事賞など受賞多数。三重県伊勢市出身。



東京大学医学部医学科3年
小林 新九郎 Kobayashi Shinkuro

-MESSAGE-

東京大学理科3類に首席合格。精神医学研究室で分子生物学の実験に取り組むほか、東大初の日中友好団体を立ち上げるなど、医学にとどまらず幅広い分野で活躍している。三重県鈴鹿市出身。



明治大学国際日本学部4年
鶴田 拓夢 Tsuruta Takumu

-MESSAGE-

RedBull主催の世界大会CYMI2018日本代表。代表選考で日本202チーム中優勝、世界2万チーム中9位。大会を通して、ヨーロッパ1500kmを7日間で、お金なし、スマホなし、カードなし、RedBullのみで縦断達成。初登山でキリマンジャロ登頂。ワクワクすることに突き進む男。



東京大学工学部機械工学科3年
笹倉 まお Sasakura Mao

-MESSAGE-

女子向けITイベントの運営や、服を折り畳めるハンガーの開発など、多岐にわたって、ものづくりに関わる活動に取り組んでいる。2018年度東大ガールズハッカソン最優秀賞。



東京大学経済学部3年
東 加奈子 Azuma Kanako

-MESSAGE-

東京大学経済学部経済学科3年。全国高校生英作文コンテスト最優秀賞受賞。GDPに代わる経済指標や、エネルギー資源の事業収益化に研究中。



皇学館大学SBP

-MESSAGE-

私たち皇学館大学SBPは人とのつながりを大切に、地域を活性化していく団体です。みなさんの夢に向けて全力でサポートしていきます!
SBP(Social Business Project)とは、地域の課題をビジネス手法を用いて解決するプロジェクトです。



東京大学工学部マテリアル工学科3年
長原 颯大 Nagahara Sota

-MESSAGE-

高校時代はpH指示薬と金属イオンに関する研究を行い、全国高文連で奨励賞受賞。現在は大学と連携した企画運営や、高分子の挙動をPCシミュレーションで研究中。



三重大学大学院教育学研究科2年
増田 直史 Masuda Naofumi

-MESSAGE-

高校時代は、論理コミュニケーションを学び、論理コミュニケーション編集委員会に入る。放送部では、番組の企画や撮影、インタビューを行った。学部時代は、学生同士を支えるピアサポート団体に所属したり、地域の人と地域歴史イベントや歴史クイズ大会を企画運営した。大学院では、社会科教育ゼミで地域学習を研究中。

夢実現例



- ①研究をしたい!でも何から始めたらいいの?
メンターのサポートを受け、自分の研究をスタートすることができるようになった!
- ②世界で活躍したい!でも何をやったらいいの?
国際活動の経験のあるメンターに出会って、世界で活躍する方法がわかった。
- ③活躍するロールモデルと出会いたい!!
目標とする存在と出会い、直接の支援をもらった。悩んでいた進路も明確になった。
- ④いろんな仕事の体験がしたい!
みえ次世代育成応援ネットワークの企業等で、将来つきたい職業の体験ができた!

みえの子ども応援プロジェクト第4期協賛者

井村屋グループ株、岡三証券株津支店、JAグループ三重、株百五銀行、株三重銀行、株第三銀行、三重県信用金庫協会、学校法人高田学苑、宇野重工株、三重交通グループホールディングス株、株ZTV、福道建設株、株赤福、三愛物産株、株中村組、株ヤマモリ、情報システム.J.T株、伊勢安土桃山城下街株
*紙面の都合上、一定額以上の協賛者を掲載させていただきました。
詳細は、子ども・福祉部のHP(<http://www.pref.mie.lg.jp/D1KODOMO/000117824.htm>)をご覧ください。(順不同)